

## 河川復元の概要

1. 河川名	2. 国名
ロゴーヌ	カメルーン

### -3. 摘要

問題：

降雨量が少ないことから、1979年のマガ・ダム建設は、次のような結果を導いた。

- ・ 氾濫原の大部分における氾濫の減少、
- ・ 生物多様性の減少、特にワザ国立公園及び生物圏保存地域において。
- ・ 家畜によって草が激減、漁業が崩壊、
- ・ 乾期における地表水の不足、
- ・ 定住農家、家畜飼育、漁業従事者達の大量移住。

#### 1. ワザ・ロゴーヌ・プログラム

このプログラムが目指しているものは、氾濫原の生態的及び水文学的諸機能を復元し、地域社会の福祉を改善することである。（女性も遊牧民も含めた）全ての利害関係者がこのプログラムに参加している。

このプログラムは四つの主要な要素からなっている。

##### (1) 生態系の評価とモニタリング

社会的、経済的、生態学的、水文学的データが、パートナーシップの確立と、代替の管理シナリオの確認および評価に使われる。例えば、100,000万 ha を再び氾濫させるための水力学的モデルが開発された。

##### (2) 資源管理

水管理プランは、水をロゴーヌ川から放流させて氾濫原を生き返らせるものである。先行プログラムですでに20%（300km<sup>2</sup>）が復元された。地域社会の開発がプログラムを通じて、例えば、農業、林業、漁業分野などで支援されている。

##### (3) 生物多様性の保全

ワザ国立公園の保護が、コア（中核部）と「周辺」ゾーンのための管理プランによって確実にされた。地元の人たちは資源にアクセスでき、3ヶ所でエコツーリズム活動に従事している。

##### (4) 能力形成と権限委譲

プロジェクトの担当者、政府のテクニカル・サービス、資源利用者、地域社会が統合的管理方法について訓練を受けている。

コミュニティと女性達はプログラムの中で、例えば、健康に関する活動を共同管理する。この問題に関心のあるグループはいくつもの助言あるいは管理委員会を通じて、決定過程に貢献する。

主要結果：

- ・ 33 の村の 37 の井戸水がきれいになり、また健康と衛生の訓練により、水に由来する病気が 70% も減った。
- ・ 氾濫原は、いまや平方キロ当たり 3,000 ドルを余分に生産するため、8 万人が一人当たり 250 ドルの追加収入を得られようになった。
- ・ 復元された地域とワザ国立公園では、多年草から魚類や鳥類にいたる生物多様性が完全な回復を見た。
- ・ 地元のいくつもの地域共同体が、政府とテクニカル・サービスの支援を受け、氾濫原を共同管理し、その資源の利用について自己規制している。

2. IUCN 国際自然保護連合:湿地及び水資源プログラム

ワザ・ロゴーナにおける氾濫原の復元、カメルーン：

地域社会における福祉を改善するために氾濫原の生態学的機能と水文学的機能を復元することが、このプログラムの目的である。全ての利害関係者（女性も遊牧民も含めて）がこのプログラムに参加している。

3. 世界保全 2/99

このプロジェクトの主要な最終目標は、ワザ・ロゴーナ地方の生物多様性の長期的な改善と、人々の生活の質の持続可能な改善とを達成することである。

## ● . プロジェクトの概要

### - 1 . プロジェクト実施期間

プロジェクト開始時期 (立案の開始) :

1998 年

施工開始時期 :

1992 年

施工終了時期 :

2000-2003 年

### - 2 . 主導機関

IUCN 国際自然保護連合が事務局。

オランダとカメルーンの政府による資金提供。

第 3 段階は、世界自然保護基金(WWF)による基金も得ている。

● **背景 - 現在**

- 1. 原生自然、二次的自然、三次的自然を改変する大規模事業を記述してください (写真や地図、画像を用いて)。その事業の主な要因と目的は何ですか？

表:

	長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)
改変後の流路の形状			

解説:

現在は人工的に起こした洪水により、1,000km<sup>2</sup> の氾濫原が復元された。これによって、氾濫原の動植物が見事に回復し、地元民からも歓迎されている。また、33 の村に点在する泉からきれいな水が供給されるようになり、さらに健康と衛生のための訓練を行ったことで、水に由来する病気が 70%減少した。この復元された氾濫原により、1km<sup>2</sup> あたり 250 ドルの利益を追加であげるようになった。これは 8 万人に対して、一人あたり 250 ドルが収入として追加されることを意味する。復元された地域とワザ国立公園では、生物多様性の完全な回復が見られ、多年生草本から多くの魚類や鳥類に至るまでが見られるようになった。地元のいくつもの地域コミュニティが、政府とテクニカル・サービスの支援を受け、氾濫原を共同管理し、その資源の利用について自己規制している。

- 2. 大規模事業の結果として生じたポジティブな、あるいはネガティブな影響は何がありましたか？

人工的な洪水がダム建設の影響を相殺した。

- 3. ネガティブな影響については、何にその原因がありましたか？